

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.74

郷土を想う心が 「まち」をつくる

豊橋技術科学大学大学院2年

木村 巧 (茨城県猿島郡境町出身)

2019年9月に開催されたシャレットワークショップは、私にとって3回目の参加となりました。(2017:松尾地区、2018～2019:三穂地区)今年度は、昨年度の成果を踏まえつつ、事前の現地見学や住民の方との意見交換も経て、事前に4つの課題が設定されました。私の班では、三穂地区の公共交通(自家用車以外)の現状と課題に向き合い、将来にわたり地区の皆さんが持続的に暮らしていくためにどうすれば良いか、4日間考え抜きました。この活動を通して、インターネットから得られるような表面的な知識や情報によるだけではなく、実際に“現場”で“現物”を観察し、“現実”を認識した上で課題解決を図る、“三現主義”の重要性を改めて学ぶことができました。

活動全般にわたり親切かつ全面的にご協力いただいた三穂まちづくり委員会や市職員の方々へ深く感謝するとともに、その郷土を想う姿勢が「まち」をつくることの素晴らしさを感じ、大変貴重な経験となりました。



成果の発表風景